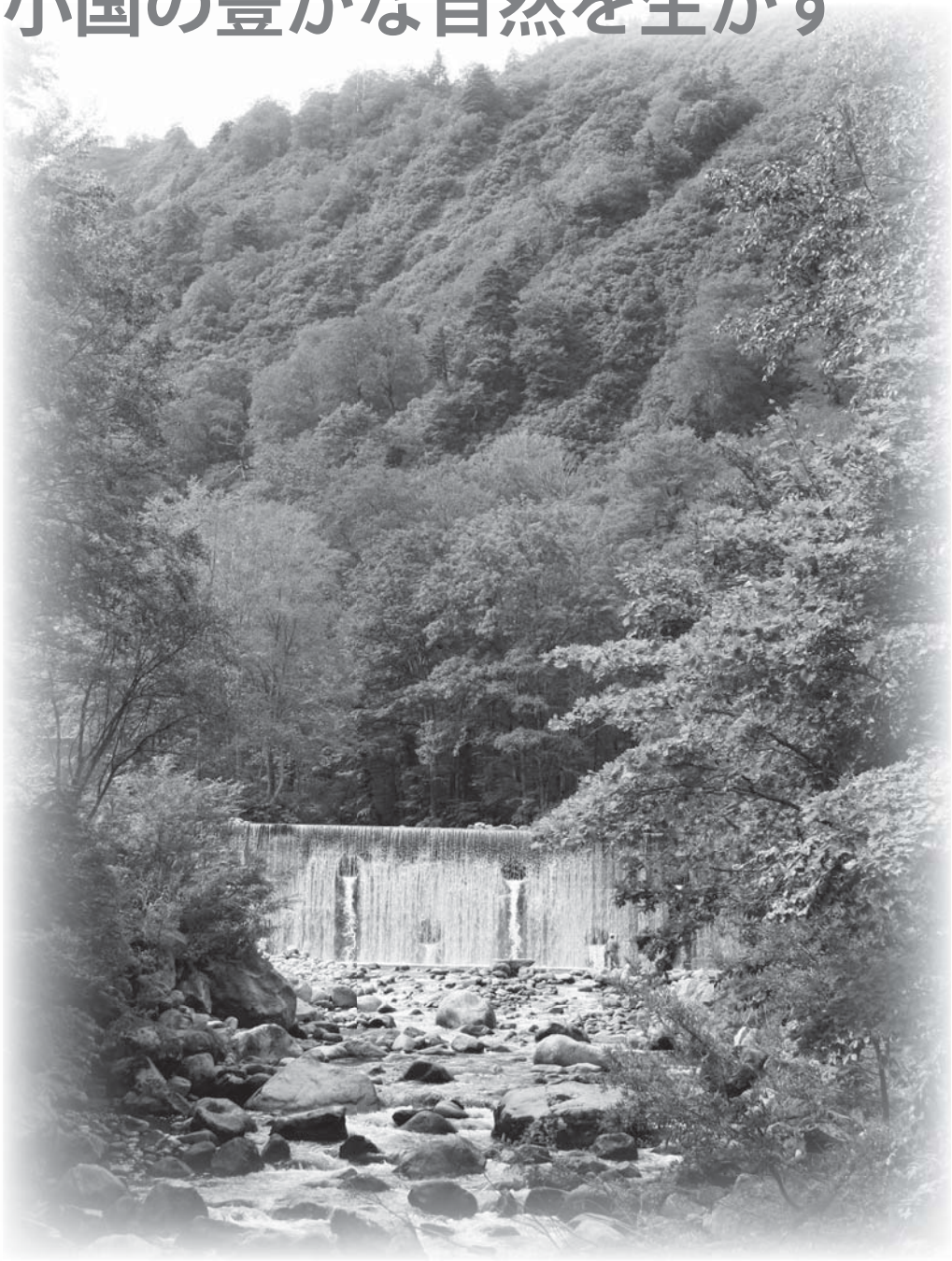
広報
おぐに
2013
NO. 699
1

「感動の朝」 本間信義氏

再生可能エネルギーの活用に向けて

小国の豊かな自然を生かす



私たちの生活には、電力などの熱源となるエネルギーが欠かせませんが、その多くは、石油などの限りある資源です。地球温暖化や資源の枯渇の問題、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、国ではエネルギー政策の見直しを進めていますが、本町においても、木質バイオマスエネルギーなどを中心として、民間や町による再生可能エネルギー活用の取り組みが進められています。今月は、こうした事例を紹介し、本町における再生可能エネルギー活用の可能性について考えてみます。

町を取り巻くエネルギー環境

私たちの生活で使われている主要なエネルギーは石油などの化石燃料で、それは限りがある資源です。これに対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマスなどの資源は、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、枯渇しない資源といえます。これらは、再生可能エネルギーといわれています。

本町が有する広大な森林面積は、町土の約94％を占めており、この多くはブナやナラを中心とした広葉樹の森です。また、本町は全国屈指の豪雪地帯ですが、降り積もった雪は、やがて地表に湧きだし、豊かな水資源をもたらします。昭和13年の日本電興株式会社の立地は、水力発電にも利用できる豊富な水資源があったからこそ実現できたもので、その後、町の中核企業は、水力発電により、経営活動を維持してきました。

こうした背景のもと、町では、平成17年に小国町環境基本計画を策定し、平成24年３月、同計画を改定しました。

この計画では、自然環境の保全や、持続可能な安全で安らぎのある暮らしの構築、小国ならではのエネルギーの利活用などについて、それぞれ取り組み目標を設定し、町民、行政、関係機関等が役割を持ち連携し、推進していくこととしています。

これまでも町では、木質チップボイラを活用した熱供給システムを導入することにより、役場庁舎駐車場や、小国大橋歩道の消雪に取り組んできていますが、改定した同計画では、再生可能エネルギーの活用推進の重点プロジェクトとして、本町の自然条件等を踏まえて、木質バイオマスエネルギー及び中小水力エネルギーなどの利用推進を図ることとしています。

本町の豊かな自然環境から生み出される資源を、もう一度見直し、利活用を進めていくことは、本町ならではのエネルギー社会の実現や、地域経済の活性化にも結び付くものと考えられます。こうした取り組みは、町、民間それぞれで動き出しています。

住民主体でエネルギーの地産地消を推進

本町においては、住民が主体となって再生可能エネルギーについて理解を深め、それを普及していこうという取り組みもみられます。平成22年４月に設立されたおぐにエネルギーの地産地消を考える会（高橋泰弘会長）では、毎年、「おぐにの再生可能エネルギーシンポジウム」を開催し、森林資源の有効活用をテーマにした有識者の講演や、実践者の事例発表を行っているほか、木質バイオマスエネルギーを活用した暖房設備などの展示を行い、本町の自然エネルギーを生かした取り組みを積極的に進めています。

本年12月８日に開催された同シンポジウムでは、環境ジャーナリストで、本町の環境基本計画策定懇談会委員として指導いただいた小澤祥司氏（東京都）が、「小国から始めるエネルギー革命」と題して基調講演を行いました。

小澤氏は、世界のエネルギー供給、消費の歴史や動向、北欧における風力、バイオマス発電の事例を紹介し、これまでの大規模集中型の電力供給システムから、小規模分散型の地域エネルギー供給システムへの転換の必要性を

おぐにエネルギーの地産地消を考える会
高　橋　泰　弘　会長

小澤祥司氏の講演

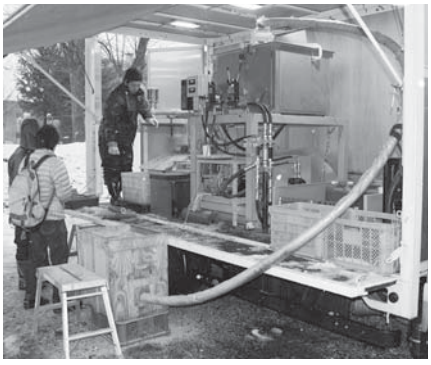
話しました。
　同会の高橋泰弘会長は、「町内でも、ペレットストーブなど木質バイオマスエネルギーを活用した暖房設備を利用している人が増えてきています。ペレットは、町産材から作られており、このことは、森林資源の有効活用や、林業をはじめとした町内雇用の拡大、町内経済の活性化につながると考えられます。また、多くの人は、ペレットストーブをはじめ、太陽熱利用システムや、もみ殻活用システムなどの設備等を間近で見る機会が少ないと思います。このため、体験的に理解を深めてもらおうとシンポジウム開催時に実物の展示も行っていま

普及が進んでいるペレットストーブ

す。小国町には身近なところに豊かな資源があり、それは持続可能性の高いエネルギー資源といえます。一人ひとりがこのことを捉えて行動していくことは、町全体の活性化にもつながると思います。」と話してくれました。

もみ殻を活用した取り組み

小国地産エネルギー研究所
菅　美　登　所長


農家の軒先で、もみ殻燃料の製造を実演できる移動式製造プラント

　もみ殻を、モミガライトと呼ばれる圧縮成形した固形棒に加工して、冬の暖房燃料として使う先駆的な取り組みが町内で行われています。
　平成24年4月に設立した小国地産エネルギー研究所（菅美登所長）では、モミガライト製造機を導入し、製造技術の確立や、ビニールハウス用暖房ボイラー、屋内設置用のストーブ、さらには広島県の機械メーカーと共同で移動式製造プラントなどを開発しています。また、モミガライト製造機は、すりつぶしたもみ殻を作ることもでき、これは稲作の苗床づくりにも活用されています。
　同研究所の菅所長は、「もみ殻は、日本国内では毎年

耐雪ハウスの熱源にもみ殻燃料を使用

２００万トン発生しており、貴重な再生可能エネルギー資源です。加工したもみ殻は、暖房燃料としてだけでなく、苗床づくりに使えますし、燃焼した灰は田畑に還元できます。もっと多くの人々にそれを知ってもらおうと、平成24年11月に完成した移動式製造プラントを用いて、近隣市町の軒先で製造を実演し、その利点を実感してもらっています。事業拡大、普及にあたっては、周辺技術の確立が欠かせませんが、今後も農家と手を携えながら実証を重ね、再生可能エネルギーの名脇役として育てていきたいと考えています。」と話してくれました。
　また、平成24年12月から、耐雪ビニールハウスの熱源としてモミガライトを使用している石垣正憲さん（田沢頭）は、「耐雪ハウスの熱源として用いています。石油や電気を使わないですし、もみ殻という原料そのものが、私たち農家にはたくさんあります。循環型社会に対応した、次代

の熱源として期待しています。」と話してくれました。

小水力発電の可能性を探る

町では、環境基本計画に基づき、新たに小水力発電の導入に向けた取り組みを進めています。

小水力発電とは、農業用水路や沢水などを活用し、概ね1万キロワット以下の電力を生み出す、小規模な発電設備をいいます。1級河川、農業用水、砂防ダム、上下水道などさまざまな場所において、小規模の流量や段差を有効に活用してエネルギーを生み出すことができます。

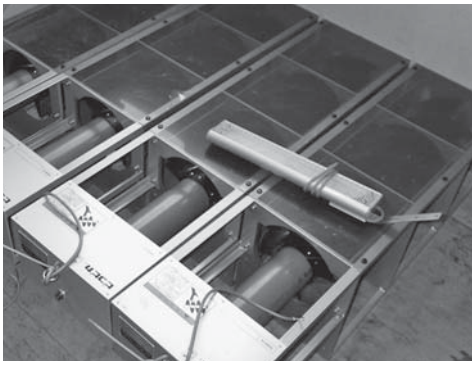
小水力発電の導入について、町では、農業用水路に螺旋（らせん）式小水力発電機を設置し、発電した電力を照明灯などに使用する予定です。これは、本町において初めての取り組みとなります。

併せて、その利活用についても、現地調査等を進めており、国の制度（緑の分権改革推進アドバイザー等事業）を活用し、有識者のアドバイスを受けながら、その設置個所を含め、様々な有効活用策を模索しているところです。

この事業では、早稲田大学環境総合研究センター主任研究員の岡田久典氏に指導、助言をいただいています。

岡田氏は、本町での現地調査等を踏まえ、「小国町は、飯豊、朝日連峰に囲まれ、水量がとても豊かな地域ですが、小水力発電だけで町全体の電力需要を賄えるわけではありません。活用策としては、農業用水路で発電した電力を農産加工施設や、宿泊施設等に供給すれば、その生産物や提供しているサービスに新たな付加価値をつけることができます。単に電力を生み出すというだけでなく、再生可能エネルギーの活用を地域振興につなげていくことが大切だと考えています。」と話してくれました。

早稲田大学環境総合センター
岡田久典主任研究員



本町で初めて導入する螺旋式小水力発電機

再生可能エネルギーの推進に向けて

本町は広大な森林を有していますが、木材単価の低迷や木材の利用減少など、林業を取り巻く環境は依然として厳しく、林業後継者の減少や森林とかかわる生活様式の衰退など、適正な管理が行われなくなってきているケースが増えてきています。

潤沢な水資源とともに、豊かな森林資源を活用していくことは、荒廃が懸念されている森林や農地の保全、環境負荷の少ない社会の形成、さらには地域経済の活性化にもつながると考えられます。また、その推進においては、今回紹介したような住民の積極的な取り組みも重要になります。

町では、現在、建設中の、新しい小国小学校校舎において、木質バイオマスエネルギーを活用した暖房や消雪システムを導入するとともに、屋上に太陽光パネルを設置し、校舎内の電力の一部に使用するなど、再生可能エネルギーの導入と、地球環境に配慮した環境づくりに努めています。

また、今後も、町民や各種団体と連携し、木質バイオマスエネルギーや小水力発電などの再生可能エネルギーのさらなる導入可能性調査等を進めながら、具体的な方策や支援策を整理し、地域の振興や、経済の活性化を図るとともに、新産業の創出に結び付けていくこととしています。

小国町議会定例会・臨時会

第11回町議会定例会

第11回小国町議会定例会が、12月11日から13日までの期間、開会されました。一般会計補正予算など19議案が審議されました。

一般会計補正予算のうち、叶水小中学校における給食の実施にかかる運搬車両等の経費については、減額措置のうえ可決され、この他については、原案のとおり可決されました。この結果、一般会計に1億5968万4千円を追加し、補正後の同会計予算総額は、82億1390万6千円となりました。

主な内容は以下のとおりです。

一般会計に1億5968万4千円を追加

■小国町商工会が実施する「プレミアム付き買い物券発行事業」について、今年度2回目となる発行事業経費の一部助成を行うこととしました。

■コバレントマテリアル㈱小国事業所に対し、工業用水の利用確保策として、年間契約使用料の概ね8割に相当する額を、昨年度に引き続き支援することとしました。

■ホームヘルパー資格取得支援事業において、当初予定を上回る申し込みがあったことから、所要額を追加しました。

■ツキノワグマの捕獲依頼件数が例年の2倍となっていることから、有害駆除捕獲出動交付金の追加を行うこととしました。

■大型機械での除雪が困難な歩道や生活道路等を対象に、ハンドガイド式除雪機の貸し出しを行っていますが、さらにきめ細やかな除雪体制を整えるため、新たに1台購入することとしました。

小国町営バス設置及び管理に関する条例の一部を改正

■高齢者の交通手段の充実化を図るため、町営バス循環線において、新たな「内循環」を運行することとしました。

なお、実施については、スクールバスを活用し、運行開始は1月7日からで、月曜日から金曜日までの午前9時から午後1時14分までの間、20分間隔で巡回します。

また、循環線の料金を現行の1回100円から1日100円とし、乗り継ぎ等における料金の軽減を図ることとしました。

第12回町議会臨時会

第12回小国町議会臨時会が、12月19日、開会されました。

平成24年4月から不在となっていた副町長に、新たに山口政幸氏（東原）が選任されました。

第46回 衆議院議員総選挙結果

第46回衆議院議員総選挙が、12月16日に行われました。即日開票の結果、小国町における各候補者並びに政党ごとの得票結果は次のとおりでした。

小選挙区選出議員選挙　投票率74.26%

章和介嗣	票	466
裕憲洋康	票	2,386
野木藤本効	票	2,144
川鈴近岩無	票	270
	票	110

比例代表選出議員選挙　投票率74.15%

党党党党党党革会党票	票	199
主現の主産改の	票	501
民明実な民主共党	票	12
会福ん由本党維未効	票	346
社公幸み自民日新日無	票	1,739
	票	1,108
	票	230
	票	44
	票	774
	票	215
	票	200

人事異動

（　）内は前職

■退職（12月31日付）

会計管理者　山口政幸

■昇任・昇格（１月１日付）

課長級

▽町民税務課税政管理主幹（兼）税政管理室長（町民税務課税政管理室長）川俣幸雄▽産業振興課農林振興主幹（兼）農林振興室長（健康福祉課健康管理支援室長（兼）地域包括支援センター次長）舟山良一

室長・課長補佐級

▽地域整備課水道管理室長（教育委員会事務局ぶな文化調査担当主査）松山茂▽健康福祉課健康管理支援室長（兼）地域包括支援担当主査（健康福祉課地域包括支援担当主査）横山順子

■配置替え（１月１日付）

▽包括ケア推進監（町立病院事務長（兼）介護老人保健施設事務長（兼）訪問看護ステーション所長（兼）医療技術部長事務代理（兼）医療情報システム管理室長）小池克昌 ▽会計管理者（町民税務課長）伊藤幸治▽町立病院事務長（兼）包括ケア推進次長（兼）介護老人保健施設事務長（兼）訪問看護ステーション所長（兼）医療技術部長事務代理（兼）医療情報システム管理室長（地域整備課長）阿部英明▽町民税務課長（健康福祉課長（兼）健康管理センター所長（兼）地域包括支援センター所長）伊藤要一▽地域整備課長（地域整備課建設技術主幹（兼）建設技術室長）野澤正美▽健康福祉課長（兼）包括ケア推進次長（兼）健康管理センター所長（兼）地域包括支援センター所長（総務企画課行政管理主幹(兼)行政管理室長）後藤和人▽地域整備課建設技術室長（地域整備課水道管理室長）菅野享一▽健康福祉課生活福祉推進室長（兼）子育て支援センター所長（兼）中央児童室長（産業振興課農林振興室長）齋藤勉▽総務企画課行政管理室長（健康福祉課生活福祉推進室長（兼）子育て支援センター所長（兼）中央児童室長）井上伊勢男▽議会事務局長補佐（併）監査委員事務局長補佐（議事主査（併）監査委員事務局監査主査）梅川俊男

就任のあいさつ

新副町長
山　口　政　幸

昨年12月の町議会臨時会において、ご同意を賜り、１月１日付で副町長を拝命しました。職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

もとより、浅学非才の身ですが、役場生活40年で培ってきたノウハウとネットワークを駆使しながら、町長を補佐し、時代が求める地域経営のコーディネートに徹してまいる所存です。

町民皆さまには、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

シリーズ協力隊通信⑧

皆さんとバレーボールを通じて交流しています

伊　藤　正　俊

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

小国に来て幸運だったことは様々あるのですが、バレーボールの文化があったこともその一つです。ママさんバレーの練習に参加したり、北部中学校男子バレー部のコーチをしたりと、自分自身楽しんでいます。知り合いも増えますし、何よりバレーをやってる人が多いのが嬉しいですね。

北部中学校は、来年度から小国中学校に統合されますが、統合しても男子バレー部は存続するとのことです。精一杯、先人達が作った小国のバレー文化を伝承し支えていきたいと思います。

1月27日(日)は山形県知事選挙の投票日です。
～忘れずに投票しましょう～

告示と投票日

■告示日　1月10日(木)
■投票日　1月27日(日)

投票できるかた

■投票日当日で満20歳以上のかた（平成5年1月28日までに生まれたかた）
■平成24年10月9日以前から小国町に住所を有するかた

※選挙人名簿に登録されていても、県外へ転出されたかたは投票できません。

期日前投票は1月11日から

投票日当日に、仕事、買い物、レジャー等で不在になるかたは、期日前投票をしましょう。入場券を忘れずに持参してください。お手元にないかたは、投票所で係員にお申し出ください。

会場①役場2階ラウンジ
■期間　1月11日(金)から1月26日(土)まで
■時間　午前8時30分から午後8時まで

会場②健康管理センター森のホール
■期日　1月23日(水)
■時間　午前9時から午後4時まで

各種不在者投票について

■町外に滞在されているかたの不在者投票

住所が小国町内にあり、仕事や学業などのため町外に滞在しているかたは、現在お住まいの市区町村の選挙管理委員会で不在者投票をすることができます。

事前に投票用紙の請求などの手続きが必要ですので、お早めに選挙管理委員会にお問い合わせください。

■病院・老人ホーム等での不在者投票

都道府県選挙管理委員会が指定した病院、老人ホーム等の施設に入院又は入所されているかたは、その施設に申し出ることで、不在者投票をすることができます。

詳しくは、各施設にお問い合わせください。

なお、町内では、次の施設が指定されています。

・町立病院
・介護老人保健施設
　温身の郷
・特別養護老人ホーム
　さいわい荘

■郵便による不在者投票や不在者投票の代理記載制度

身体障害者手帳や介護保険の被保険者証の交付を受け、一定の要件に該当するかたは、「郵便による不在者投票」や「郵便による不在者投票の代理記載制度」を利用できます。

郵便による投票をされる際は、事前に郵便等投票証明書の交付を受ける必要がありますので、早目に手続きを行ってください。

☆投票所、投票時間は、事前に配布される入場券に記載されていますので、ご確認ください。

開票は即日開票

■開票　1月27日(日)午後9時から
■場所　総合センター
■問合先　選挙管理委員会（☎62―2112）へ

新年を迎えて

小国町長

盛田信明

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

世界規模での社会経済情勢の激変の中で、経済災害とも言うべき状況が続いておりますが、町内にも、その影響が押し寄せています。

私は、景気、雇用対策を最重要課題と捉え、その対策を講じるとともに、「町民主役のまちづくり」を基本理念に、「一万人復活のまちづくり」に邁進してまいります。そのため、①高齢者にやさしい福祉の推進、②子育てにやさしい環境の整備、③新産業創生と再生可能エネルギーの活用を柱に地域の活性化に取り組みます。

第一の柱「高齢者にやさしい福祉の推進」では、高齢者の交通手段を確保する町内巡回交通や、きめ細やかな除雪体制の整備などの福祉施策を一層充実いたします。加えて、空き校舎の有効活用等による高齢者の見守り体制を整備するなど、多様なニーズにあった空間を創出し、高齢者支援のモデル地域の形成を目指してまいります。

第二の柱「子育てにやさしい環境の整備」では、昨年着工した小国小学校の新校舎や、多目的屋内運動場の建設を着実に進め、次代の小国を担う子どもたちの教育環境を、ハード、ソフトの両面から整備するとともに、子育て世代の定住促進、人口増加を図るための環境づくりに積極的に取り組んでまいります。

第三の柱「新産業創生と再生可能エネルギーの活用」では、本町を支えてきた中核企業を支援していくとともに、中・長期的な視点で、本町の自然条件や資源を活用した再生可能エネルギーの実用化を目指し、活力ある地域を創造してまいります。

町民皆さまの暮らしに寄り添いながら、町民の命と健康を守り、より安全、安心な暮らしの実現に向けて、全身全霊をささげる所存です。

結びに、本年が、皆さまにとりまして希望に満ちた輝かしい一年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

舟山勇さん（若山）林野庁長官賞を受賞

舟山勇さん（若山）が、第51回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事において、林野庁長官賞を受賞されました。

舟山さんは、長年にわたり、造林に取り組まれたほか、クリ園の造成や、転作田を活用したワラビの栽培など特用林産物の振興にも尽力され、林業の持続的な発展に寄与されました。このたび、こうした功績が認められ表彰されたものです。

山口英彦さん（荒沢）山形県林業賞を受賞

山口英彦さん（荒沢）が、11月21日、川村造林記念山形県林業賞を受賞されました。

山口さんは、昭和47年から小国町森林組合に勤務し、平成18年からは代表理事組合長として同組合の経営に携わり、計画的な作業道の整備や、県産木材の利用を推進し、地域林業の振興に寄与されました。このたび、こうした功績が認められ表彰されたものです。

地域の見守り活動が高く評価されました
～北部小中学校まご支援隊が功労者表彰受賞～

北部小中学校で子どもたちの見守り活動などを行っている「北部小中学校まご支援隊（益田信司隊長）」が、内閣府の「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」を受賞し、小国警察署長から伝達表彰を受けました。

同支援隊は、平成17年６月、地域のおじいちゃんおばあちゃんが主体となり設立され、それ以来、子どもたちの登下校時における見守り活動や、小学生を対象として昔遊びや料理などの体験活動を積極的に行ってきました。こうした取り組みが高く評価され、今回の受賞となりました。

在来作物の取り組みを放映
～よみがえりのレシピ上映会～

山形県内を舞台に収録されたドキュメンタリー映画「よみがえりのレシピ」上映会が、12月２日、総合センターで行われました。

この作品は、在来作物の種を守り続ける生産者や研究者、新たな食べ方を提案する料理人の取り組みを映画化したもので、２度の上映の間、山形大学農学部江頭宏昌准教授のミニトークショーも行われました。在来作物による地域再生を学んだ一日となりました。

クリスマスリースを制作
～森林（もり）の恵みでリースを作ろう～

子ども体験教室「森林の恵みでリースを作ろう」が、12月８日、総合センターで開催されました。

当日は、親子など約20人が参加し、小国町内で採取されたドングリやクルミ等の木の実や木の枝など自然の素材を用いて、クリスマスリースやツリーなどを制作しました。本町の自然の素材で、個性豊かな作品がたくさん出来上がりました。

途上国にワクチンを
～ペットボトルキャップを寄託～

小国小学校の環境ボランティア委員会が、ペットボトルのキャップ約3,600個を山形銀行小国支店（佐藤譲支店長）に寄託しました。

これは、ペットボトルのキャップの売却益を途上国のワクチン費用にする取り組みで、同委員会委員長の６年柴田青空（せいら）さんは、「世界の子どもたちの役に立とうと、全校児童に協力を呼びかけて集めました。」と話してくれました。

犯罪のない町を目指して
～防犯標語、ポスター表彰式～

小国町防犯協会（会長・盛田信明町長）による防犯標語・ポスター表彰式が、12月４日、健康管理センターで行われました。

今回のコンクールには288点（標語・ポスター含む）の応募があり、表彰式では、そのなかから選ばれた標語６点、ポスター３点を制作した児童・生徒に賞状が贈られました。また、その後、町長と受賞者との懇談会も行われ、日ごろの防犯活動の大切さについて話し合いました。

笑顔キラリ Smile.21

木村麻菜美さん

DATA
- ●きむら　まなみ
- ●年齢／21歳
- ●住まい／岩井沢
- ●趣味／野球観戦、バレーボール

Kimura Manami

平成24年４月から、すみれ保育園で保育士として、２歳児を担当しています。日ごろの保育にあたっては、子どもたちの気持ちを大切にしながら、善いこと悪いことをしっかり区別できる子になるよう指導していきたいと思っています。

子どもたちは保育園での生活のなかで、いろいろな事に挑戦していきますが、今までできなかったことができるようになった瞬間、子どもの成長を実感し、とてもやりがいを感じます。これからも、園児が、元気で健やかに成長できるよう頑張りたいです。

お知らせコーナー

ご案内

自主防災組織活性化研修・交流会

置賜地域の自主防災組織の優良な活動事例や発表者などとの意見交換を通じて、自主防災活動をさらに充実させる方法を考えます。

■**日時**　1月30日㈬午後1時30分～午後4時

■**場所**　置賜総合支庁本庁舎2階講堂

■**内容**　優良な活動事例の発表や発表者等との意見交換

■**申込・問合先**　置賜総合支庁総務企画部総務課防災安全室（☎0238-26-6007）へ

お知らせ

ミツバチを飼育するかたは届出が必要です

養蜂振興法が一部改正され、日本蜜蜂も含め蜜蜂を飼育するかた（花粉交配期間だけの飼育は除く）は、毎年1月末までに飼育届を提出していただくこととなりました。該当されるかたには届出様式を送付しますので、提出してください。

■**問合先**　置賜総合支庁農業振興課（☎0238-26-6053）へ

家畜の定期報告

次の動物を1頭・1羽でも所有するかたは、家畜伝染病予防法により毎年2月1日現在の頭数等の報告が義務付けられています。**新しく家畜の飼養を開始・中止したかた、飼養しているのに報告用紙が届かないかた**は、必ずその旨を電話でご連絡ください。

牛、水牛、鹿、めん羊、豚（ミニブタ含む）、いのしし、馬（ポニー含む）、鶏（うこっけい、チャボ含む）、うずら、あひる、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥

※ペット、学校等での飼育も含みます。

前年に報告されたかたは、1月末に報告用紙が送付されますので、忘れずに提出してください。

■**問合先**　置賜家畜保健衛生所（☎0238-43-3217）へ

募集

町営住宅入居者募集

《**小坂町団地**》

3DK　1戸（2階）

▽**家賃**　所得と家族構成により決定します。

▽**対象**　所得制限がありますのでお問い合わせください。

《**小坂町勤労者住宅**》

2DK　4戸（1階・2階・3階）

▽**家賃**　33，000円

▽**対象**　町内の事業所にお勤めのかた

《**岩井沢勤労者住宅**》

3DK　3戸（1階・2階・3階）

▽**家賃**　42，000円

▽**対象**　町内の事業所にお勤めのかた

■**敷金**　家賃の3カ月分

■**募集期限**　1月15日㈫

■**入居時期**　1月下旬以降

■**問合先**　地域整備課建設管理室へ

町内の空間放射線量をお知らせします。

～いずれの場所の数値も人体に対して影響のない水準です～

■12月25日の空間放射線量

測定場所	測定値（μSv/h）
北部小中学校　グラウンド	0.09
沖庭小学校　グラウンド	0.04
旧小玉川小中学校　グラウンド	0.08
旧玉川小中学校　グラウンド	0.09
小国小学校　グラウンド	0.10
小国中学校　グラウンド	0.10
叶水小中学校　グラウンド	0.05
旧伊佐領小学校　グラウンド	0.08
旧白沼小中学校　グラウンド	0.08

※測定値は地上から50㎝の高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

■問合先　町民税務課町民生活担当へ

今月の出前町長室は以下のとおりです。お気軽においでください。

8日㈫ 10:00～11:00、22日㈫ 10:00～11:00、15:00～16:00【アスモ街なか情報ステーション】

町長室専用メール　shiroimori@town.oguni.yamagata.jp　町長室専用FAX　0238(62)2611

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日　時　1月8日、15日㈫(子育て講座・楽しいクレープ作り)、22日、29日いずれも午前10時～11時30分

■場　所　健康管理センター

■対象者　0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日　時　1月10日、17日、24日、31日いずれも午前10時～11時30分

■場　所　アスモ多目的ホール

■対象者　0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆赤ちゃん広場☆

■日　時　1月24日㈭ 午後1時～午後3時30分

■場　所　おぐに保育園

■対象者　生後4カ月から15カ月のお子さんとお家のかた

☆ゆきんこ広場☆

■日　時　1月21日、28日いずれも午前10時～11時30分

■場　所　健康管理センター

■対象者　0歳から入園前のお子さんとお家のかた

◆問合先　子育て支援センターへ

1月の保健カレンダー

1．各健診の日程等

■3歳児健診
- 期　　日　1月11日㈮
- 受付時間　12:30～13:00
- 対　　象　平成21年5月、6月7月生まれ

■4カ月児健診
- 期　　日　1月25日㈮
- 受付時間　13:10～13:20
- 対　　象　平成24年9月生まれ

■1歳児健診
- 期　　日　1月25日㈮
- 受付時間　13:00～13:10
- 対　　象　平成24年1月生まれ

2．場　所　健康管理センター

3．その他　母子健康手帳を持参ください。

4．問合先　健康管理センターへ

求人情報

右の表は、12月25日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84－8609）へ。

事業所名	職　種	求人数	勤務時間
大河内産業㈲	一般作業員	3人	8:00～17:00
㈱小国タクシー	タクシー運転手	2人	6:30～18:00、7:00～22:30 10:00～00:00
社会福祉法人小国福祉会	介護員	1人	7:30～16:30、9:15～18:15 10:30～19:30、15:30～9:30
斉藤建設㈱	一般作業員	2人	8:00～17:00
㈲蔵王ストアー	レジ係(販売員)	1人	8:45～18:00
小国開発㈱	現場管理	1人	8:00～17:00
社会福祉法人小国福祉会	看護師(常勤正規職員)	1人	8:00～17:00、10:30～19:30 9:15～18:15
㈲小国技研	ボーリング洗浄工及び作業管理補助	2人	8:00～17:00
小国食糧㈱	生鮮食品仕入・店頭販売	1人	8:30～18:30
㈱高橋工務店	土木技術者、建築技術者、普通作業員	5人	8:00～17:00
合資会社山佐佐藤農機店	営業・販売・整備工	1人	8:30～17:30
㈱横川建設	現場管理、配送運転手、重機オペレーター見習い、事務員	8人	8:00～17:00
㈱建装テクノ	塗装工	1人	8:00～17:00
㈲三浦電設	とび工・土工	3人	8:00～17:00
伊藤建築　伊藤一郎	建築大工(見習い可)	1人	8:00～18:00
カインドネス㈲おぐに調剤薬局	医療事務	2人	8:30～12:30、14:00～18:00
㈱小国タクシー	運転代行	2人	19:00～00:00
㈲白い森よこね物産品直売所	販売・接客・調理補助	2人	9:00～18:00の間の5時間程度

※今月は、12月以降に登録された求人を掲載しています。

今月の納税 2013.1

1月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●**1月28日㈪**　水道料

●**1月31日㈭**　町県民税（4期）、国民健康保険税・後期高齢者保険料（7期）、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先
町民税務課税政管理室へ

小国町競争入札参加資格審査申請を受け付けます。

小国町が行う建設工事、測量・建設コンサルタント、物品、役務の競争入札に参加を希望するかたは、次のとおり申請してください。

■受付期間　２月１日㈮～28日㈭
■受付時間　午前９時～正午、
午後１時～午後４時
■受付場所　役場地域整備課建設管理室
■有効期間　平成25年度～26年度
（町内業者のかたは平成25年度）
■申請方法　必要書類などの詳細については、電話または町のホームページでご確認ください。
■問 合 先　地域整備課建設管理室へ

山形県特定（産業別）最低賃金

県内で次の事業を営む使用者に使用される労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される特定（産業別）最低賃金が改正されました。

	最低賃金額		効力発生日
電気機械器具等製造業	１時間	731円	平成24年12月25日
一般産業用機械等製造業	１時間	745円	
自動車・同附属品製造業	１時間	747円	
自動車整備業	１時間	749円	

なお、上記に該当しない労働者は、山形県最低賃金（１時間654円）が適用されます。
■問合先　山形労働局労働基準部賃金室
（☎023-624-8224）へ

総合センター図書室から

～新着図書～　・・・休館日・・・　毎週月曜日・祝日

◇ひなこまち　畠中　恵
◇百年法　上・下　山田宗樹
◇かっこうの親　もずの子ども　椰月美智子
◇ふくわらい　西加奈子
◇山中伸弥先生に、人生とｉＰＳ細胞について聞いてみた　山中伸弥

相　談

年金相談

■日　時　１月23日㈬
10:30～14:00
■場　所　役場町民相談室
■対応者　米沢年金事務所職員
■申込み　事前に申込みが必要です。
■申込・問合先
町民税務課住民窓口担当へ

人権相談

■日　時　１月23日㈬
10:00～12:00
■場　所　総合センター
■対応者　町人権擁護委員
■問合先　町民税務課住民窓口担当へ

消費者相談

■日　時　１月26日㈯
10:00～15:00
■場　所　役場雇用相談室
■対応者　司法書士　舟山健蔵氏
■申込み　事前に申込みが必要です。
■申込・問合先
町民税務課町民生活担当へ

冬の省エネ節電県民運動実施中

山形県では、**「家族団らん　心あったか　笑顔で省エネ」**をスローガンに、暖房器具等の使用等によりエネルギー消費が増加する冬季において、県民の皆さまに持続可能で自主的な節電と省エネの取り組みを呼びかけています。健康に留意して、無理のない範囲で取組みにご協力ください。

■**取組みの例**（1日あたりの削減率の目安）
テレビを見る時間を１時間減らす（△0.5％）／冷蔵庫の設定温度を「中」から「弱」へ変更する（△1.8％）／エアコンの暖房設定温度を１℃下げる（△1.6％）

■**問合**
山形県環境企画課省エネルギー推進担当（☎023-630-2336）へ

雪下ろし講習会のご案内

昨年、一昨年と豪雪に見舞われた県内では、雪下ろし作業中の死亡事故や怪我などが多発しています。町では県と共催で、安全な雪下ろしを行うため、命綱やアンカー等の装備品を実際に使用して実践的に学ぶ講習会を開催します。

■**日　時**　１月29日㈫　午後１時～
■**場　所**　小国町森林組合
　２階会議室
■**講　師**　長岡技術科学大学
　上村靖司准教授
■**定　員**　約20名
■**申し込み**　参加を希望されるかたは、下記までお申し込みください。
■**その他**　雪下ろしができる服装で参加してください。
■**申込・問合先**
総務企画課政策企画室へ

平成24年度小国町文化講演会

『みんな地球に生きる人』

アグネス・チャン氏

■**期日**　２月16日㈯
■**時間**　午後１時30分開演
■**会場**　総合センター
■**講師**
歌手・エッセイスト・教育学博士
アグネス・チャン　氏
■**入場料**　無料
■**その他**　聴講を希望されるかたは、準備の都合上、下記にお申し込みください。
■**申込・問合先**　教育委員会事務局へ

平成25年度みどり環境公募事業を募集します

平成25年度みどり環境公募事業による県民参加の森づくり活動の募集を行います。

○**支援する活動内容**
平成25年度中に実施する取組み
◆一般助成
①森林・自然環境学習
②自然環境の保全活動
③豊かな森づくり活動
④森林資源の利活用
◆テーマ助成

○**募集期間**
１月10日㈭～２月18日㈪

○**問合先**
応募方法など詳しい内容については、産業振興課農林振興室もしくは置賜総合支庁森林整備課森づくり推進室（☎0238-35-9053）へ

平成24年度 ゆきみらい大賞の募集について

「雪国やまがた」の地域特性を活かしながら、雪国の伝統・文化の継承や、雪の利活用、雪を克服する活動など、雪国の住みよい暮らしづくりに貢献している個人や団体を紹介し、今後の活動の普及推進や奨励を目的とするものです。

■**応募対象**　県内で雪に関して積極的に取り組んでいる団体または個人
■**応募期限**　２月８日㈮
■**応募方法**　自薦、他薦を問いません。応募用紙に記入し、提出してください。
■**応募・問合先**
やまがたゆきみらい推進機構事務局（村山総合支庁総務企画部北村山総務課）☎0237-47-8609へ

No.699
広報おぐに
2013-1-1
編集発行／小国町役場総務企画課　ホームページ http://www.town.oguni.yamagata.jp　携帯電話向けサイト http://www.town.oguni.yamagata.jp/m/index.html
〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目70番地　TEL0238（62）2111㈹　FAX0238（62）5464
印刷／㈱青葉堂印刷

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

岩井沢	舟山 莉夢（りむ）	泰則 希宏え
岩井沢	木村 愛梨（あいり）	優明 こず貢
小国町	四釜 愛莉朱（あいりす）	絵駿 美平
松崎	仁科 暖（だん）	茜 俊里
五味沢	関 俊太郎（しゅんたろう）	英麻

結婚おめでとうございます。

大宮	桐生 直之
兵庫舘	渡部 江梨子
小玉川	伊藤 光春
長井市	細谷 美幸

おくやみ申し上げます。

越中里	梅津 文雄	（75）
小国小坂町	筆宝 晴義	（70）
兵庫舘	飯田 光男	（91）
町原	永井キミエ	（91）
芹出	舟山 悦次	（79）
田沢頭	本多 慰子	（81）
東原	渡部幾太郎	（94）
五味沢	齋藤 金好	（71）
大滝	佐藤 ぬよ	（91）
小国小坂町	丹ち	う（93）
朝篠	舟山 正	（80）
東原	舟山シヅ子	（88）
尻無沢	木戸 いし	（93）

人口のうごき

人口	男・・・4,249人	（－3）
	女・・・4,485人	（－8）
	計・・・8,734人	（－11）
世帯数	3,232世帯	（－1）

平成24年11月30日現在

～訂正とおわび～

先月号の戸籍のまど「誕生おめでとうございます」欄において、名前に誤りがありました。

（誤）長谷川陽人（はると）ちゃん→（正）陽大（はると）ちゃん

訂正し、おわびいたします。

シリーズ 健康道場

その九　腰痛予防トレーニング①

現代社会では、年齢にかかわらず、様々な原因で腰痛に悩まされるかたが多くなっています。シリーズ健康道場では、そんなかたのために、これから４回にわたって「腰痛の緩和・予防のためのトレーニング」を掲載します。自分でできるところから、できる範囲で実行してみましょう。

ここでご紹介する内容は、一般的な緩和、強化エクササイズですので、自分に合った運動を行ってください。継続する事で腰痛の改善や予防につながります。「やり方がわからない」場合は、下記問い合わせ先に連絡ください。

Yuiオススメ エクササイズのポイント

緩和ストレッチ

両足を下腹部に抱えるポーズです。30秒程度、この姿勢を維持しましょう。必ず呼吸して行いましょう。

強化ストレッチ

四つ這いでお腹を引き上げる

四つ這いで腰を落とす

呼吸は止めないで行いましょう。
①四つ這いでスタート。
②頭のてっぺんは前方に向けて。（極端に頭が落ちたり、あごが上がったりすることを防ぐため）
③お腹と背中を交互に反らせる。（意識しましょう）
※８～10秒かけて交互にゆっくり行う。
※１日１回（１回４往復程度）から始めましょう。

※お問合せ先　おぐにYuiスポーツクラブ　☎62－5808

編集後記

表紙の写真は、小玉川の本間信義さんに提供していただいたものです。朝日が出る前に山が赤く美しく染まることを、登山の用語では、モルゲンロート（morgenrot）と表現するとのこと。また、この言葉はドイツ語で、朝焼けを意味します。本間さんは、ファインダーを通して、春夏秋冬、その日、その瞬間で様々な姿を見せる美しい景色を印象的に表現してきています。今回、たくさんの写真を拝見させていただきましたが、本当に地元を愛する気持ちが伝わってきました。本年も、「広報おぐに」をどうぞよろしくお願いいたします。（加藤）